

賑わいのある町づくり

目次

1.津別町の現状

2.問題意識

3.理想

4.解決策

5.実績

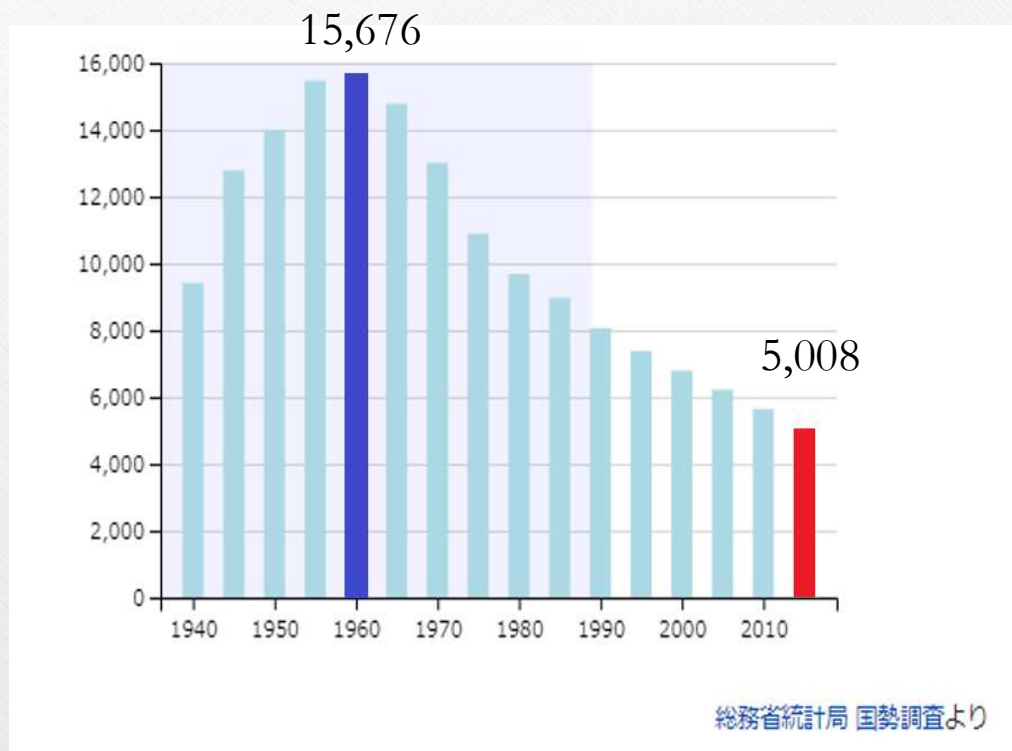
6.まとめ

7.感想

1.津別町の現状 I

人口減少と高齢化

◎津別町の人口推移

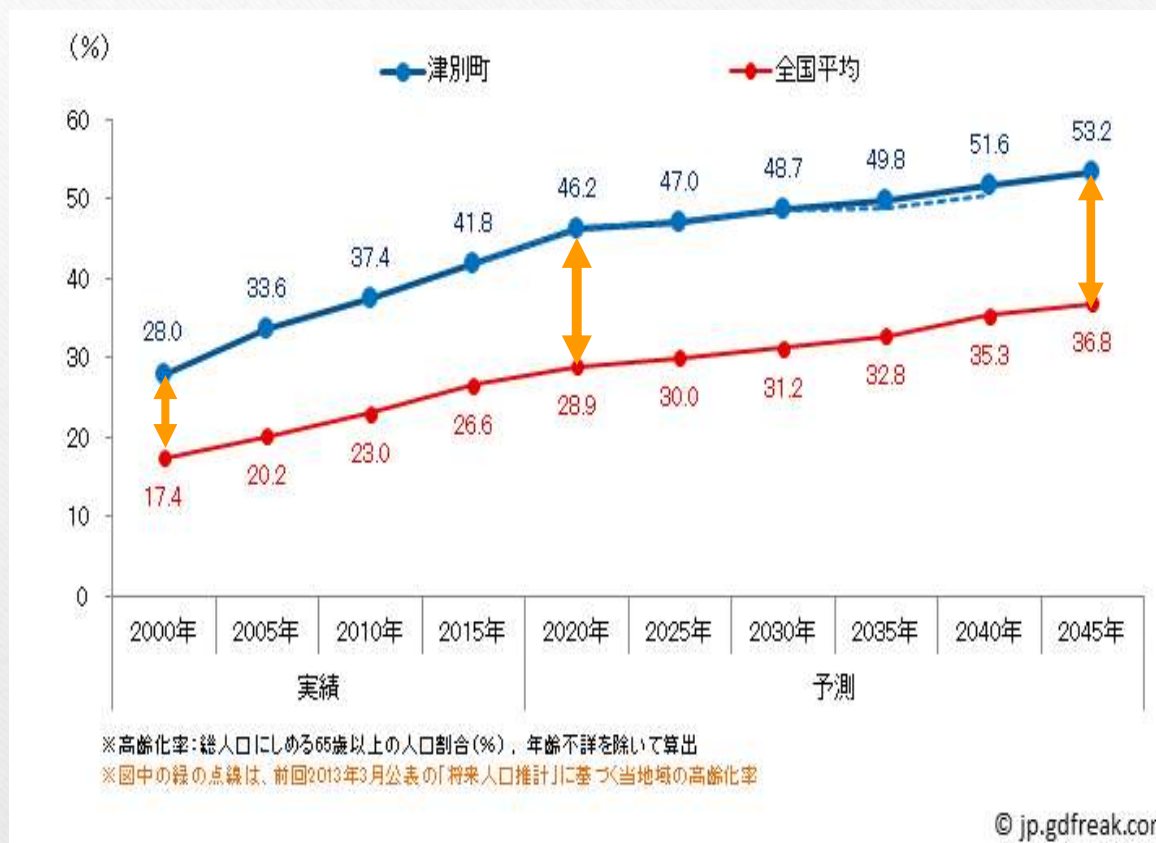


1960年 15,676人

2015年 5,008人

2019年 4,660人

◎津別町の高齢化率の推移



2000年 28.0%

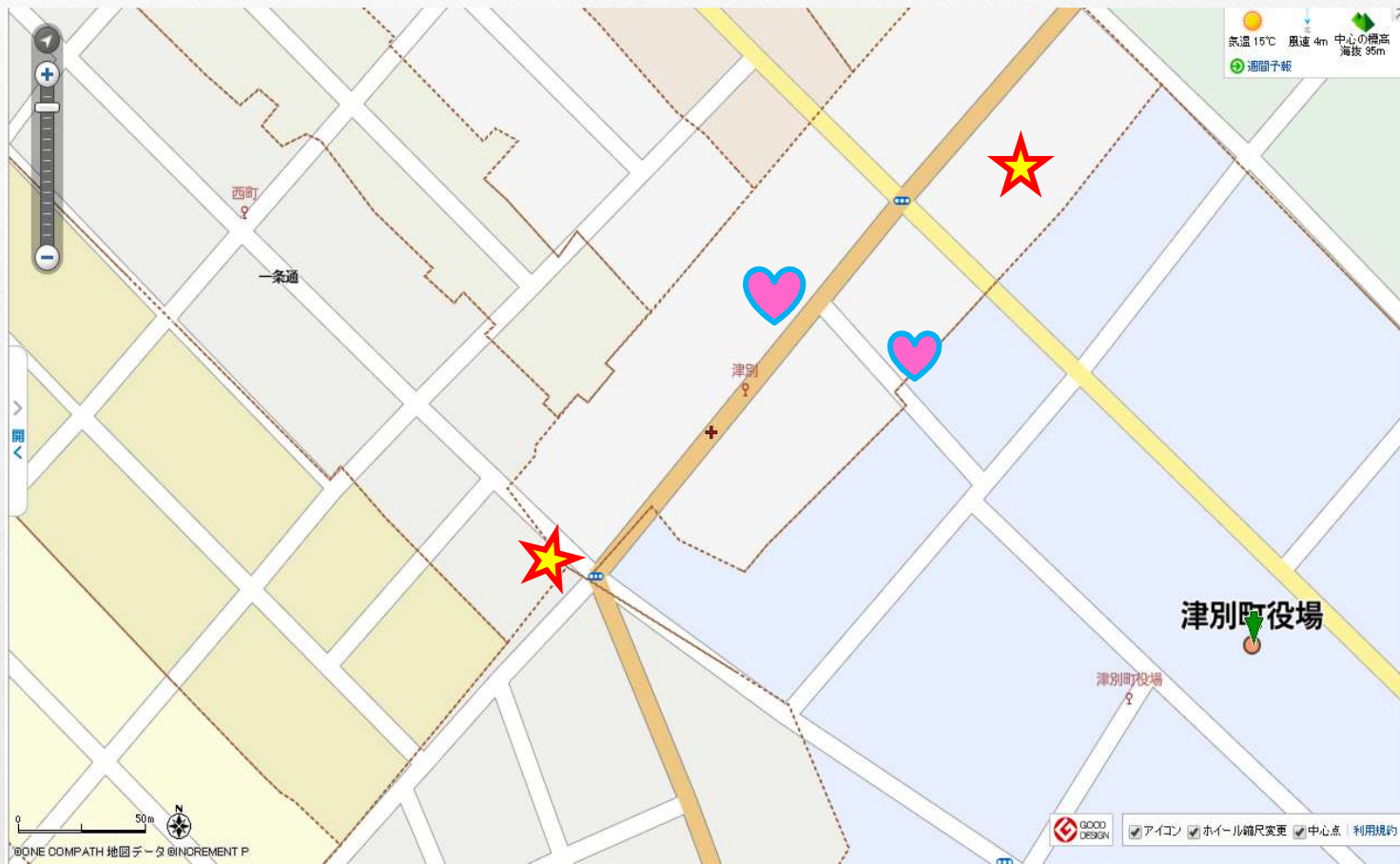
2020年 46.2%

2045年 51.6%

1.津別町の現状Ⅱ

空き家・空地

◎津別町市街地拡大地図



2.問題意識

- 賑わいが欠けている
- 町民が集まる場所が少ない
- 若者の人口が減っている



50年後にはどうなってしまうのか…

◎50年後の津別町

- 空地、空き家が倍増する
- お店が閉店してしまう
- 津別町外に出て行ってしまおう若者が増える



←シャッター街

廃れた町→



3.理想 I

～昔のような明るい商店街へ～



3.理想Ⅱ

～全世代の町民が集まれる場所へ～



+ α

4. 解決策1

- イルミネーションを導入
- 街灯を増やす
- シャッターアート





4. 解決策Ⅱ

- 複合施設を作る

○鳥瞰パース



※イメージパースであり、
正形状・面積・アサイン等は
今後検討させていただきます。

5.実績

- 2019年2月 JIMBA誕生





6.まとめ

- ・人口減少や高齢化が進み、まちの良さを引き出し、全世代の町民が集まれる賑わいのある空間を作ることで、昔のような明るい町を取り戻したい。

7.感想

～将来の津別町について考えるのは大変でしたが、とてもいい経験となりました。

～この事業を通して、改めて津別町について考えることができよかったです。

～はじめは慣れないことばかりで大変でしたが、高大連携という貴重な経験ができよかったです。

～昔の津別町のことはよく知らなかったもので、この機会を通して知ることができました。

～入院していたのであまり参加できなかつたのですが、津別町のことを知ることができてよかったです。

～自分が通っている町についてたくさん調べて、知らなかったことを知ることができてよかったです。

ご清聴ありがとうございました

津別のコミュニティを見つめる

若者議会 多世代交流

目次

1. 動機
2. 調査方法
3. 内容・イベントの提案
4. 考察・まとめ

～動機～

津別町を見つめ直し、
人口減少を防ぎ、人口増加を目的として
今まで津別町に無かった
イベントや多世代交流の場を増やしていき、
津別町を盛り上げていきたいと思ったから。

~調査方法~

- ▶ インターネット（津別町ホームページなど）
- ▶ 津別町勢要覧2019（平成31年）資料編

~イベントの提案~

1.津別市場▶「特産品をアピールできるイベント」

津別町の特産品や有名な物、

津別町のアピールになるような物を売る

2.津別果物狩り▶「豊かな自然を活かしたイベント」

津別町の農家さんで梨やベリー系の物、キンカンなど

寒い津別町でも育てられそうな物を育て、

果物狩りを楽しんでもらう

【津別市場】

- ・ **場所**

津別町公民館やバスターミナル前



- ・ **売る事が出来そうな物**

クマヤキグッズ（マスキングテープや缶バッジなど）

津別町の有機野菜（ジャガイモ 玉ねぎなど）

流氷ジャーキー 朱の一振り（唐辛子）など



【津別果物狩り】

- ・ 場所

津別町内の農家



- ・ 町で栽培できそうなもの

梨やキンカン

ベリー系の物



~考察 まとめ~

津別町特有の物をアピールしていき、津別町の良い所を色々な人に伝えていき、今回提案した津別市場のイベントや、その他にも、津別の自然を活かした果物狩りのイベント、空き家、空き地など空いているところを有効に活用し、様々な津別町の交流を深めて津別町を更に良くするイベントができると思いました。



ご静聴ありがとうございました。

SDGs (持続可能な地域社会)

～地域循環共生圏～

SDGs班





目次

- ▶ SDGsとは
- ▶ 下川町では
- ▶ 津別町でできること


• そもそも **SDGs** (持続可能な
共生社会) とは

➡ 持続可能な開発のため
の17のグローバル目標
と、169の目標の達成
基準からなる国連の開
発目標のこと。

~持続可能な開発~

環境保全を考慮した節
度のある開発が重要で
あるという考えのこ
と。





2018,19年度に選定された60の SDGs未来都市

- ➡ 2018,19年度に選定された60のSDGs未来都市の中の、北海道下川町について調べてみた。

下川町は

- ▶ 木質ペレットを利用し、町の約6割の電気を供給している。
- ▶ 木質ペレットを使う理由は。
- ▶ ・ CO2排出量が少ないのと細かい温度調節が可能で、石油と同等の使いやすさ
- ▶ ・ かさ密度とエネルギー密度が多いので輸送効率がよく、貯蔵スペースも少なくて済む



津別町でやれること

- ・ 津別町で出る廃材をペレットに加工し、電気を作る。
- ・ 津別町で木を伐採をして、植樹をし、育林をすることによって、循環し、用の確保ができる。





津別町の現状

- ・ 現在津別町のリサイクル率は35.6%で北海道で31位
(2013年度)



- ・ 白老町では82.9%→津別にも頑張る余地あるのでは？



- ・ リサイクル率を上げるには分別を正確に行わなければならない。

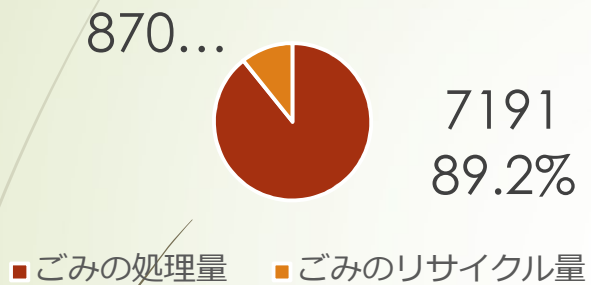


- ・ 現在の町民は分別に対しての意識が低いと考えています。なので町民の分別を改善する対策を提案します。

リサイクル率の比較

単位：
t

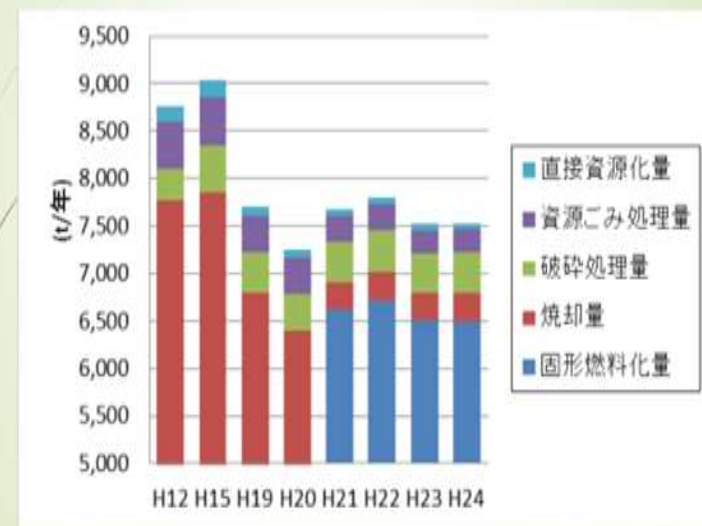
白老町



津別町



白老町のごみの最終処理



<http://area-info.jpn.org/H5614010006.html#area015440>

白老町

単位：t/年

区分	H21	H22	H23	H24
燃料化処理量	6,613	6,717	6,516	6,498
燃やせるごみ	6,082	6,003	5,813	5,799
食品加工残渣	464	637	634	629
ペットボトル	67	77	69	70

<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/docs/2014022700013/files/kihonnkeikaku.pdf>

廃棄物固形燃料化処理

- ・ 廃棄物固形燃料化とは、廃棄物からRDFやRPFなどの固形燃料を製造する技術のこと。

これらの廃棄物固形燃料は、専用の装置で燃やされて、乾燥や暖房、発電などの用途に供される。



そもそもRDFとRPFの違いって何？

▶ RDFとは、ようするに！！
生ごみを固めたもの！！

▶ RPFとは、ようするに！！
プラスチックや燃やせるごみを固めたもの！！

<http://tenbou.nies.go.jp/science/description/detail.php?id=71>

政策提言

- ▶ ・まる太くんによるPR活動
- ▶ 廃棄物固形燃料化
 - 廃棄物を固形燃料にして、廃棄物を減らす。
- ▶ まる太くんによる分別の分かりやすいプロモーションアニメの制作。
- ▶ 津別のイベント等でのゴミ全般に関する啓発活動
 - 不法投棄をなくす活動をする。
- ▶ 津別町主催のゴミ拾い大会の開催
 - 津別町で開催し、ごみを集め、ポイント制で競う。
- ▶ 町民や事業者を対象とした勉強会の開催
- ▶ シンポジウム開催
 - 空き家をリフォームして討論ができる場を作る。



- 結論

- ペレットを燃やして電気を作る。

- ごみの分別や廃棄物の固形燃料化処理によるごみのリサイクル率の向上。